

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

フタル酸ジトリデシルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

### 試験番号

7 B 7 4 3 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: フタル酸ジトリデシル
- 2) 暴露方式: 止水式
- 3) 供試生物: オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間: 48時間
- 5) 試験濃度(設定値): 対照区, 助剤対照区および 50 mg/L  
(助剤濃度: 100 mg/L, HCO-40使用)
- 6) 試験液量: 1 容器 (連) に付き 100 mL
- 7) 連数: 4 容器 (連) / 濃度区
- 8) 供試生物数: 20頭 / 濃度区 (1 連に付き 5 頭)
- 9) 試験温度: 20±1℃
- 10) 照明: 16時間明 / 8時間暗
- 11) 被験物質の分析: HPLC法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

暴露開始時および 48 時間後に測定した被験物質の実測濃度が設定値の±20%以内であったので、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

### 2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >50.0 mg/L

最大無作用濃度 (NOECi) : >50.0 mg/L

100%阻害最低濃度 : >50.0 mg/L

### 3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >50.0 mg/L

最大無作用濃度 (NOECi) : >50.0 mg/L

100%阻害最低濃度 : >50.0 mg/L